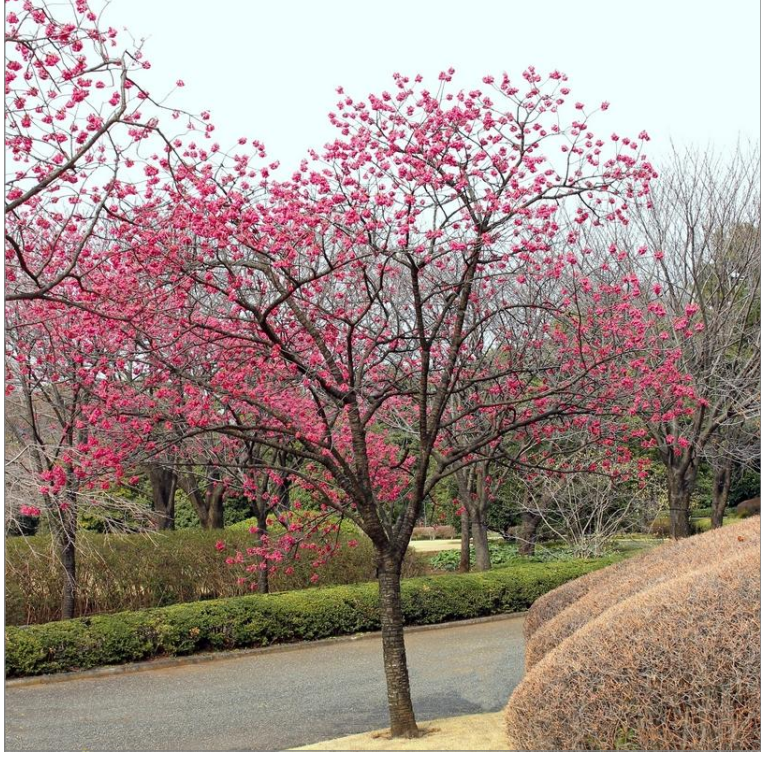




カンヒザクラ [寒緋桜]

落葉／中高木／木本植物／園芸品種



科名 バラ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

葉の展開前に、濃紅色の花が満開になるため、ひととき印象的な桜。枝々に釣鐘形の花が半開するように咲き、萼筒（がくとう）ごと散る点も独特。蜜が多く、[メジロ](#)や[ヒヨドリ](#)が競って訪花する。沖縄では1月下旬ころから開花。関東地方でも見かけることが増えてきた。



葉



花



実



花

Memo

東京の桜の開花宣言の標本木は、靖国神社のソメイヨシノ。沖縄では那覇市のカンヒザクラになる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期			■									
🍒	果実					■							
🍂	紅葉・黄葉										■	■	
🌱	施肥	■	■						■				
✂️	剪定	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）													

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	湿
寒さ	強		○	弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○		○			

ポイント

暖地の桜のため寒さに弱い。花は濃い紅色なので、淡い色の桜と配植すると色合いを楽しめる。根の張り方が浅いため、日当たりと排水がよく、踏圧(とうあつ)を受けない場所に高植えが適している。

剪定

剪定は注意が必要である。特に太い枝の切除は切り口から菌に感染しやすい。将来、邪魔になりそうな枝は細い時期に剪定し、切り口を消毒し傷口癒合剤を塗布するとよい。

病虫害

庭木の中では病虫害が多いため、定期的にチェックし対処する必要がある。葉を食害するシャチホコやイラガ類、吸汁するカイガラムシなどの被害を受けることがある。